

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動  
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

No.33

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地  
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 <https://rid2650-pub.com/katsuyama/> Email:katsuyamarc@gmail.com  
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

## 第3071回 例会 (3月18日)

### ●会長スピーチ

副会長 滝川 博則



3月に入り勝山市内の高校、中学、小学校と順次卒業式が執り行われました。私の息子も無事中学校を卒業し、私も卒業式に出席してきました。

思い返すと3年前はまだコロナ禍の卒業式で会場に入れる親は1名だとか全員マスク着用とか今にして思えば終わりそうでまだ終わっていない感が強かったですが、今回はそんな事はなく逆に卒業生、在校生が歌を歌い合う従来の卒業式で大変親として嬉しく思った次第です。

世間的には今日から始まる大リーグ開幕戦ドジャース対カブスの話題でもちきりで、主役の大谷選手の4日間の経済効果は40億円とも言われ桁外れの数字とそのスター性にテンションがあがります。開幕2戦は楽しみです。

さて、15日土曜日京都にて2025-2026年度会長予定者会議ペッツに参加してきました。詳しくは後日お話ししますが、1月の財団セミナーと今回のペッツに共通しているのは一方的な講義的な事ばかりではなく、座席も円卓で各ロータリークラブの方々と意見交換ができる事です。

自然と名刺交換もできますし、いろんな各地のロータリーの情報も入りやすくなります。

皆様も今後セミナーのご参加があると思いますが、積極的参加される事をおすすめいたします。

### ●幹事報告

幹事 久保 光子

- 国際ロータリー第2650地区2024-25年度地区大会「決議案」について ガバナー事務所
- 次週、理事役員会を開催します。
- 次年度委員への引継ぎ書、次年度計画書を5月の現新理事役員会までにご準備をお願いします。

### ◆到着物

かつやまっ子応援ニュース

### ●出席報告

多田 慶一郎

3月18日	欠席6名	71.43%
3月11日	欠席4名	80.95%

### ●ニコニコ報告

山内 政司

息子が中学を卒業して  
届出欠席

滝川博則  
滝川博則



本日 プログラム	会員卓話 滝川会長エレクト	4月1日 プログラム	会員卓話 山内智子会員	4月6日 プログラム	地区大会	4月8日 プログラム	休会
-------------	------------------	---------------	----------------	---------------	------	---------------	----

## ゲスト卓話

## 白山の自然を前に思う

永田 泰山 氏



先週お伝えできなかった動画を  
ご覧ください。

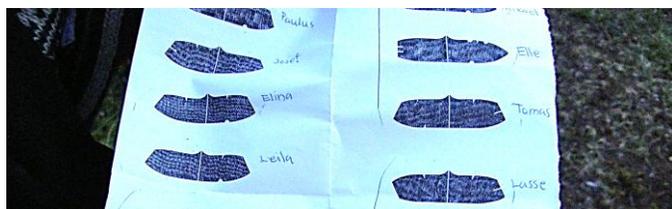
先住民がトナカイ遊牧をして  
いる暮らしを見に行った時のこと  
ですが、七夕のころにトナカイ  
マーキングといって、その年に

生まれたトナカイが自分のものであるという印を耳に刻  
みます。

子供のトナカイが親を追いかける様子を見て親子であ  
る、自分のトナカイであると判断します。素晴らしい動  
体視力です。

15歳を過ぎると両親が管理しているトナカイを自分  
で管理するようになるそうです。彼らは若いうちから全員  
が腰にナイフをつけています。料理のため、捌くため、  
トナカイマーキングのため、あらゆることを行う大事な  
道具です。

トナカイは財産なので、個人が何頭所有しているかは  
秘密です。私たちが貯金額（財産）を他人に話さないの  
と同じことなのです。



本日は白山の自然、世界に例のない自然現象について  
お話したいと思います。

加賀禅定道（一里野スキー場から白山に向かう道）の  
途中にある「百四丈滝」の氷の滝壺ができます。神秘の  
自然現象の創造物です。

その成り立ちに関する研究をしたところ、過冷却水が  
一瞬で凍り付き砂時計のように積み上がるということが  
わかりました。



地球上には様々な生活様式を持つ人々が暮らしています。  
かけがえのない自然を後世に伝えるため私たちはどう振  
る舞うべきかを考えています。

元ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカ（2012年+20リオ会議  
での伝説のスピーチが有名）は大統領時代に次のように  
語っています。

「貧乏とは少ししか持っていない事では無く、限りなく  
多くを必要としももっとも欲しがることである。幸せ  
な人生を送るには重荷を背負ってはならない。長旅を始  
める時と同じだ。長い旅に出る時に50キロのリュックを背  
負っていたら例え色んな物が入っていても歩く事は出来  
ない。」

この言葉は禅の「知足」（佛遺教経）と同じだと思い、  
世界に通じる言葉であり大切なことだと思います。

「知足の人は地上に臥（ふ）すといえども、なお安楽な  
り、不知足の者は、天堂に処すと言えども亦意（またこ  
ころに）にかなわず。不知足の者は、富めりと言えども  
而も（しかも）貧し。」

（足るを知る人は、地面に寝るような生活であっても幸  
せを感じるが、足るを知らない者は、宮殿の様な所に住  
んでいても納得していない。足るを知らない者は、裕福  
であってもまだまだ貧しい。と説かれている。

ラップランドトレッキングでは着替え、食料、テント  
（衣食住）僅か20数キロに3週間生きるために必要な全て  
を持って、氷河の山を見ながら過ごせることは最高に幸  
せだと感じた次第です。

普段の生活ではやらなければならない事に追われてい  
て気がつかなかったけれど、圧倒的な自然を前にして自分  
1人で何かをすることはできないと感じました。

世界中の人が車を持ち、携帯を持ち、好きなことをし続  
けたら地球は耐えられるのだろうかと思います。

どこまでも成長し続けることは本当の幸せなのか、可能  
なのか、人口減少している時代にあって方向転換する時  
期に来ているのではないかと思います。

只此の山中に在らん

雲深くして処を知らず

この言葉は非常に印象的で、いつでも自分の戒めとし、  
人に教えを乞うのではなく、自分で求めていくという考  
え方が必要で、自分で感じて自分で判断することが人生  
の喜びではないかと思っています。

人に押し付けられず、自分で探し求めて自分の答えは自  
分でつけてください。というのが今回の私のメッセー  
ジであり、何をもって幸せかというのは「足るを知る」  
ということだとお話させていただきました。

